

[参考資料]

## 母子家庭の現状と自立支援のあるべき方向

### 〈母子家庭の現状〉

#### 急増する母子世帯

- ・123万世帯(H15)
- ・(5年前に比べ28%増)

#### 母子の若年化の進行

- ・母子家庭となった時の平均年齢
- 母33.5歳、子4.8歳
- ・(子が18歳に達するまで約13年)

#### 就業率は高いが、不安定な地位で就業

- ・8割を超える就業率
- ・うちパート49%、
- ・常用雇用39%

#### 不就業の者でも、高い就業意欲

- ・不就業者のうち、約86%が「就職したい」と回答

母子家庭の自立に向けた総合的なサービスの提供が不可欠

#### ①子育て・生活支援

- ・保育所への優先入所等、子育て支援サービスの提供
- ・日常生活支援サービスの提供
- ・各種生活相談(養育費の確保等)

#### ②就業支援

- ・就業相談、就業に関する情報提供
- ・職業能力開発等への支援
- ・雇用・就業機会の増大

#### ③経済的支援

- ・児童扶養手当
- ・母子寡婦福祉貸付金

### 〈あるべき方向〉

自治体による自立支援のための総合的なコーディネートが不可欠

#### ○総合的な相談窓口

- ・手当事務と他の就業・自立支援策との連働

#### ○母子家庭の個々の状況に応じた自立支援プログラム(メニュー)の作成と実施

- ・地域の各種社会資源の活用

保育所、学校、子育てNPO、児童福祉施設、母子寡婦福祉団体、民生委員・児童委員、ハローワーク など